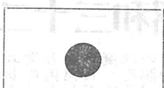
白い羽根共同募金
本町の目標額九万九千七百余円
今年も皆さんの御協力を

本町の目標額九万九千七百五十七円、今年も皆さんの御協力を／赤十字運動につきましては皆さんの御協力と御理解によりまして当光町では年々社員数も増え現在八五五名を数えて居ります。更に本年度も続々と社員加入者が御座います。この白い羽根運動がはじまつてから本年まで十ケ年間光町は目標額を突破いたしこの運動に貢献いたして参りました。三十三年度も皆さんの絶大なる御協力を得まして目標額を達成致し度いと念願致して居ります。どうか皆さん進んで賛助員に又は社員に加入されますことを御願い致します。



1月1日	元日
1月15日	成人の日
3月21日	春分の日
4月29日	天皇誕生日
5月3日	憲法記念日
5月5日	こどもの日
9月23日	秋分の日
11月3日	文化の日
11月23日	勤労感謝の日

祝日には戸毎に國旗を掲げましょう

光町新生活運動推進本部

六月の標語

歯の衛生デー（六月四日）

主婦の一役歯みがくしつけ
白い歯みやげにお嫁入り
長生き語るは歯の自慢
母の愛、我が子に与える丈夫な歯

税ニュース

昭和三十三年度から自転車荷車税が廃止され、新しく軽自動車税ができました。軽自動車税は、原動機付自転車、軽自動車、二輪の小型自動車、農耕作業用自動耕うん機等の税です。今度原動機付自転車については標識を県下一齊に取替える事になりましたので、光町でも取替えますので、取替時には必ず取替えるようお願いいたします。又その取替えをやりませんと諸法規に違反しますので念のため申添えます。

良い歯、良い母、良い子供
健康の味噛みしめる丈夫な歯
むし歯でアンアン磨いてニコニコ
僕の自慢は強い歯、良い歯
うつかり虫歯しつかり豫防
清い歯は美と健康の二重奏
みだしなみ一目でわかる歯の白さ

計量記念日（六月七日）

メートル法慣れよ覚えよ使い良い
世界中どこでも通るメートル法
複雑な世に簡単なメートル法
馴れるメートル減る面倒
メートル十進町運百進

時の記念日（六月十日）

五分前に遅刻なし
定時勵行人より先に
一秒の音一秒の命
時と金は使いようで生きる
過ぎた時間は追いつけぬ
待つな待たすな定めた時間
遅れる一人待つ人十人
正直な時計に恥をかゝすな

「広報研究より」

光町の誕生と今後の諸問題

昭和二八年三ケ年の時限法として町村合併促進法が制定されて国は町村合併の促進に努めて来たのであります即ち経済文化等あらゆる社会情勢の変遷に伴い、従来の町村の規模は必ずしも適正でなく、従つて地方公共団体本来の使命である住民の福祉を増進することも建設的事業の実施も充分に出来得ない実情となつて来たからであります。本法の施行により町村合併は都道府県の計画に對し九一%の進捗率をみたのであります。然しこれら合併町村の実際は合併本来の目的である基礎的な地方公共団体としての機能を充分に発揮することにいたらなかつたのであります。そこで国はこれらの新市町村の育成強化を図るため、昭和三一年新市町村建設促進法を制定し補助金の制度を設け、新市町村の建設に最大の努力を傾注して来たのであります。

1 光町の誕生

御承知の通り私共の町も昭和二九年五月三日合併してできたのであります。第一に私共が合併に際しては一応住民の福祉を増進するための基本方針を樹立し速やかに一体性を確保すると共に、組織及び運営の合理化を図り、健全な財政運営に努め、あらゆる困難を克服し、結合強化された財政力を極力建設的経費に充当することにあつたのであります。第二にはこれらの目的達成の具体的方策として、行政運営の合理化、財政運営の合理化、建設事業の実施、一つの自治体としての自覚等が強く要望されたのであります。ではこれらの問題はどのように処理されてきておるのでしょうか。私が今更申し上げるまでもなく皆さん御承知の通りであります。

然し乍ら一部今後の問題として充分考慮しなければならない点も二・三残されておるのであります。

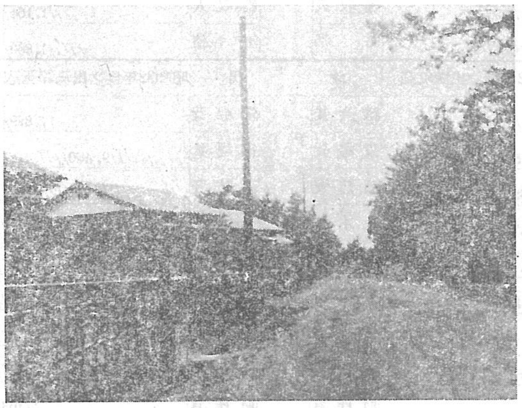
2 残された問題点

私共は過ぎし四ケ年をふりかえり、その歩み来た姿をつぶさに検討し、今後の行政運営の参考にしなければなりません。そしてよりよき新市町村としてあらゆる建設計画の具体策を確立し、最少の経費で最大の経営効果をあげることのできるような適切な行財政運営を行わなければなりません。そのためには、第一に出張所をいかにして統廃合するかの問題。第二に小、中学校をはじめ区域内の施設をどのように統合するかの問題。第三に町の一体化確保の面で区域内の公共的各種団体をどのようにするかの問題であります。

以上の諸問題はどれも理想としてはその必要性を認識しておるのでありますが、いざ実行となると、仲々従来の堅い殼を容易に破りえないものであり、まして直接間接に利害関係もあることゝて、旧来の自治意識に對する拘束感を、思い切つて断ち切り、一つの自治体として相ともに共存するという一体感によつて結ばれ進んでその建設に分担協力するということが出来得ないのであります。

3 むすび

いうまでもなく、町村合併本来の目的は町村の規模を適正化することにより、その組織及び運営を合理化し基礎的な地方公共団体としての基盤を固め地方自治の本旨を充分に実現することであるが要するに住民の福祉の増進を図ることが根本であります従つて残された諸問題についてもお互いに納得のゆく處まで研究をしそれらを実現した暁には住民に不便をかけない何等かの施策を講ずるか、或は又住民からの要望の盛り挙がるのを待つかの二つでありましよう。何れにしても軽々に処理出来得ない問題である。然し乍ら、月日の経つにしたがい、文化の進むにしたがい、自然に、社会情勢がこれらの問題の解決をして呉れる事ではありましよう。が、私共は真剣にこれらの問題を研究し、一日も早く合併本来の目的達成ができるようにしようではありませんか。又そうすることが私共に課せられた責務でもあります。



（町営住宅橋場団地の一部）

町営住宅本年度割当きまる

第一種　四戸
第二種　十六戸

本町は昭和三十一年度に町営住宅建設三ヶ年計画をたて、第一年度に第一種十戸、第二種十戸、第二年度に於て第一種五戸、第二種十五戸、計四十戸を既に完成し本年度分はこの程県より第一種四戸、第二種十六戸の配分があつた。

第一種建設地は、宮川団地（東陽病院前）第二種は宮川六四八〇の一番地約七反歩を建設用地として買収契約成立し、七月着工十一月完成の見込みである。

これで本町の住宅は六〇戸になり、町内住宅難の緩和は云うまでもなく、町の発展に大きな役割をなすことゝなる。

光町学校教員の人事異動について

昭和卅二年度末光町立学校教員の人事異動は次のとおりであります。

◇日吉中学校
関　儀助　組合専従へ
大関　巽　栄中へ
森　美子　小見川南小へ
江畑　富恭子　嚶鳴中より
伊藤　孝一　椿海中より
鈴木　高雄　東陽中より

◇南條中学校
宇井　聰　栄中へ
越川　春樹　県指導課へ
川島　達也　白里小より
山本　邦彦　豊海中より

◇東陽中学校
鈴木　高雄　日吉中へ
山田　貞四郎　松尾中へ
加瀬　直斗　白浜小より
立石　堯宥　白濱中より
林　満智雄　平和中より

◇白浜中学校
立石　堯宥　東陽中へ
宇沢　英児　東陽小へ
椎名　弘明　栄中より

◇日吉小学校
平山　多喜　南條小へ
伊藤　信　八日市場中央小へ
穐田　孝子　東陽小へ
小川　貴恵子　朝陽中（印旛郡）より
関　のぶ子　南條小より
小川　章雄　白浜小より
須合　芳　東陽小より

◇南條小学校
勝又　正夫　椿海中へ
関　のぶ子　日吉小へ
伊東　弘明　椿海小より
平山　多喜　日吉小より

◇東陽小学校
須合　芳　日吉小へ
木村　まつ　本納小へ
及川　志朗　白浜小へ
椎名田　佳司　白浜小より
穐田　孝子　日吉小より
内田　美代子　野田小より
宇沢　英児　白浜中より

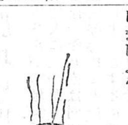
◇白浜小学校
椎名田　佳司　東陽小へ
小川　章雄　日吉小へ
加瀬　直斗　東陽中へ
伊藤　好枝　南條小より
山崎　勲　豊栄小より
及川　志朗　東陽小より
藤城　中　（退職）

貯蓄をすれば税金が軽くなります

—知つて置きたい減税貯蓄—

貯蓄をすれば税金が軽くなる、こんな耳よりな話が四月一日から実施されることになつた。

これまでは一部の預貯金の利子に対しては無税であつた、それがさらに自分の所得税から一定金額（元金の三%）を差引いてもらえるのだ、土地を買うため、住宅を作るため、子供の教育費にあるいは老後の生活に備えてこのチャンスを活用しましよう。



町税の割合

（単位千円）

	昭和31年度	昭和32年度
自転車荷車税	1.071	1.061
電気ガス税	1.038	1.017
たばこ消費税	2.017	2.081
県民税	810	992
町民税	5.608	[illegible]
固定資産税	11.906	11.723

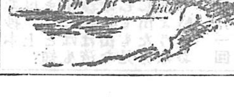
産業便り

農家の皆さん、こんどの降雪寒波による被害のため、特に水稲苗代の管理については大変苦労なさつたことでしよう。その後天候も幾分立ち直つたので健苗が育成出来たことは喜ばしい。五月一日現在早い部落は已に半分位植付が済んだという。今後の肥培管理に病害虫防除に専念され充分な豊作を期待いたしましよう。

「増産を主眼の病害虫防除の計画」

米麦の種子消毒。水稲一般防除。苗代一齊消毒。野鼠駆除。附記畜舎一齊消毒等を例年の通り強化実施いたしますので防除組合の全面活動を望む。

夏がやつて来る
子供たちの水難を防ごう



あとがき

廣報第三號がやつと約一年振りで皆様の御手許にとゞけられる様になりましたが、今年度の最初の廣報なので町の豫算やら決算やらで随分かたい広報だと感じますが、私達の町の年度出発ですからよく読んでいたゞいて理解していたゞきたい。尚広報についておきずきの点、その他記事がありましたら編集部まで——。